

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN WEEKLY REPORT 2012-2013



名古屋名南ロータリークラブ

■承認 / 1991年3月8日 ■例会日 / 火曜日・PM6:30 ■例会場 / 名古屋マリオットアソシアホテル
■会長 / 宮崎 良一 ■幹事 / 坂本 晃 ■会報・雑誌・広報委員長 / 東山 直史
■事務局 / 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com

第1021回

2012年10月16日(火) 晴 第15回

～ 職業奉仕月間・米山月間 ～

斉唱 我等の生業
出席 会員59名(出席率算入人数54名)
出席 45名 出席率83.33%
前々回補填率97.96%(9月25日分)
ゲスト NPO法人 as one 代表
丹羽 茂男さん
ビジター 名古屋名駅 RC I.M. 実行委員長
小西 忠昭さん
名古屋名駅 RC I.M. 実行副委員長
小酒井 比呂志さん

会長あいさつ

会長 宮崎 良一さん

皆さま、こんばんは。今日は、名駅RCからI.M.実行委員長の小西さんとI.M.実行副委員長の小酒井さんに来ていただき、宣伝をしていただきました。前年度、当クラブも実行委員長を中心に同じ立場であったことを思い出して、出来るだけの協力をしたいと思いました。どうぞよろしくお願いします。



また、NPO法人 as one代表の丹羽さんには、福島の子供たちを支援するクリスマス音楽イベントを企画していただいて、私どもも参加させていただくということでお話が進んでいます。後程お話があると思いますがよろしくお願いします。

同額補助に多少関連していますが、地区内交流の一環として、10月13日(土)に田原パシフィックRCによるさんまフェスタに行ってきました。当クラブからは7人が参加しました。秋刀魚の仕入れ値は、一匹60円だそうです。3500匹仕入れて、その場で焼いて、モクモクとした煙の中でみんな楽しんでいる様子でした。翌日には、ゴルフの企画があり懇親を深めてまいりました。

今日の例会は、ロータリー財団の問題と米山のお話ということで進めていきたいと思っております。どうもありがとうございました。

幹事報告

幹事 坂本 晃さん

1. 来週、10月23日は職場例会です。11時半の出発で

すが、当日キャンセルは10時までです。なるべく欠席のないようお願いします。

2. 10月30日は休会です。
3. 11月6日は秋の家族会です。
4. さんまフェスタでは、地区の方から600,000円くらいの補助金が出ています。
5. 12月24日に新城文化会館で震災支援のプロジェクトがあります。是非参加をお願いします。
6. 地区大会の名札が出席袋の中に入っていますので、よろしくをお願いします。
7. ロータリーカードの件で、ガバナーの方から要請がありました。よろしくお願いします

ニコボックス

- ◆ 本日I.M.のPRに参りました。よろしくお祈り致します。 I.M.実行委員長 小西 忠昭さん
- ◆ 今日は、米山記念奨学委員会・ロータリー財団委員会による卓話です。両委員会に対してより理解を深め、積極的に協力しましょう。

加藤 英敏さん 本多 利郎さん 榎原 和美さん
中西 芳子さん 江松 央統さん 杉本 勇さん
白藤 憲雄さん 伊藤 圭一さん 長尾 浅吉さん
山本 誠一さん 宮崎 良一さん 坂本 晃さん
浅井 浩さん 東山 直史さん 三島多恵子さん
加藤 宜之さん 三浦 和人さん 川辺 清次さん
田中 一雄さん 出田真太郎さん 野々村憲吾さん
朝比美和子さん 木村 猛さん 中村 勝さん
木下 福郎さん 鈴木 清詞さん 伊藤 博昭さん
大平 明子さん 久米 伸治さん 鈴木 一博さん
森田敏二三さん 犬飼りさ枝さん

- ◆ 急に体調を崩しましたが、ようやく元気になりました。 林 隆二さん
- ◆ 祝電ありがとうございます。先日、無事に息子の結婚式を終えることができました。

武藤 正行さん

本日合計 50,000円 累計 460,700円

同好会報告

- ゴルフ部会幹事 本多 利郎さん
皆さま、こんばんは。ゴルフ部会から連絡申し上げます。

今週の10月19日(金)に、多治見カントリークラブにて4RCの親睦ゴルフコンペがあります。出席予定者は、時間に間に合うようよろしくお願いします。

I.M. 開催のご案内

■名古屋名駅 RC I.M. 実行委員会 委員長 小西 忠昭さん

I.M.の時間をいただきまして、ありがとうございます。“ロータリーをもっと知ろう、語ろう、感じよう”私たちがロータリー I.M.実行委員会を立ち上げて、即決決まったテーマでございます。私たちは、このテーマを合言葉に今頑張っています。



私たち名駅RCは、“名駅から世界へ”をスローガンに掲げています。大変大きな重い言葉ですが、今回は我々名駅RCの一人一人が、I.M.の世界、I.M.の意義と感動を伝える事だと思っています。ガバナー補佐は、手作りのI.M.にしようと言っています。

昨年、名南RCの方々から素晴らしいお話をし、三味線などをして、私たちは非常に楽しいI.M.でした。今回は、皆さま方のロータリー活動や自慢の一押しを披露していただきたいと思っております。皆さま方のロータリー活動を発表することによって、ロータリーの原点である奉仕と親睦をより追求できると信じています。

特に名南RCの皆さま方は、私どもにとって非常に力強い存在です。来年の2月20日に、名古屋マリオットアソシアホテルで開催されます。どうか多数参加をお待ち申し上げます。よろしくお願い致します。

ロータリー財団委員会卓話

■ロータリー財団委員会 委員長 川村 繁生さん

皆さま、こんばんは。10月は米山月間、11月はロータリー財団月間です。皆さまにはいろいろお願いをしてお協力をいただくことになると思います。

ロータリー財団の仕組みは、非常に解りやすくなりました。今年度皆さまからいただいたご寄付は、基本的には全体の75%の還元、事業で使う場合は50%の還元がございます。3年後に、今年度皆様からいただいたご寄付の金額が基となり、いろいろな事業をした時にその半額を補助していただけるということになると思っております。皆さまにご寄付をいただいたことが3年後には形として、みなさまのもとに返されるということになると思っております。

ロータリー財団としては、12,000円（150ドル）を目標にお願いをしています。それでは、加藤さんの方から予算のご説明をしていただきます。



■社会奉仕委員長 加藤 英敏さん

皆さま、こんばんは。社会奉仕委員長を務めております加藤です。

今日は、NPO法人 as oneの丹羽さんに来ていただきました。社会奉仕として、12月24日に福島の子供たちを招待して支援する企画をつくりました。これからお話をさせていただきますので、ご賛同いただきチ



ケットの購入をよろしく申し上げます。

■NPO 法人 as one 代表 丹羽 茂男さん

初めまして、NPO法人 as oneの丹羽と申します。このような席にお招きいただき、本当にありがとうございます。



写真を交えて、今の福島の状況を伝えたいと思います。また、なぜこのようなイベント企画が出来たかをご説明させていただきたいと思っております。

最初に、私が東日本大震災に関わった経緯をお話しします。被災地に行って何か出来ることはないかと思っていたところ、5月に気仙沼市から正式な支援要請をいただきました。

5月当時の被災地では、おにぎりはあるけどおかずが全くない状況でした。先ほどご紹介いただいた加藤英敏社長は、小学校の頃の同級生で、カネハツ食品のレトルト煮豆がおにぎりにぴったりだということで、15,000人分（5,000パック）の提供を受けました。私はトラックで、被災地の気仙沼や陸前高田へ行きました。この時泣いて喜んでいただきました。いかにおかずの確保が大変だったかがわかりました。

私が行った時、気仙沼はまだ焦げ臭いにおいがしていました。船はすべて火災で焼け、自衛隊の方が棒をもって行方不明者捜索をしている状態でした。これは、陸前高田の体育館です。こちらは避難所になっていて、ここに避難した300人くらいの方が津波に流されてしまいました。非常に悲劇のあった場所です。

被災地へ私一人が行っても何も出来ないのを、被災地で頑張っている若い子たちを支援しています。彼らは、一度高田の町を離れ、東京で就職しましたが、大震災で戻ってきました。彼らは桜ラインといって、陸前高田の津波到達地点に桜を植えようというプロジェクトを立ち上げているので、そのお手伝いをしています。

私の仕事は省エネの工事などでしたが、この震災でいかに防災マニュアルが間に合わないかということで、防災の勉強をしまして本当に役立つ防災のコンサルティングをしております。桜ライン名古屋で講演をさせていただきました。シンセサイザーの喜多郎さんにも賛同していただきました。被災地の規模があまりにも大き過ぎるので、向こうで頑張っている若い子を応援するという活動をしています。

被災地の中でも福島は別格です。福島以外では写真を撮れますが、福島へ行くと写真も撮れないような状況です。今はテレビでほとんど取り上げられなくなっている中、福島市内へ入った所のアカウンターの数値は0.76で通常が0.11ですから、7倍ぐらいの数値があります。0.33を超えるとエアカウンターは逃げるように音がなるので、そこはずっとなりっぱなしでした。

町に子供たちがいない状況です。福島の子供たちの約36%の甲状腺にしこりが出来ています。チェルノブイリでもそのようなことはありませんでした。この子供たちは、一生このような甲状腺検査をし続けなければならない。いろいろな指摘がある中で、まだ140,000人ぐらいの子供が避難出来ないでいま

す。これは実際に政府や党では認めていないが、小児の癌病棟の整備計画がどんどん進んでいます。非常に憤りを感じる次第です。

福島は本当に前を向いて生きる希望の乏しい町です。やはりまず私ができることは、子供を笑顔にすること、この非汚染地区の愛知県に呼んで外を駆け回って遊んでもらうことだと思いました。そのような活動を去年の夏と冬、今年の夏に行いました。これは愛知県の大学生のグループ50人ぐらいが、福島の子供を笑顔にしたい一心で70~100人の子供をキャンプに3週間くらい呼んでいます。学生がほとんど寝ずに食事など全部をしています。学生のパワーで子供たちがすてきな笑顔になるキャンプを開催しています。

今回も彼らと合同で、12月24日に最高のクリスマスをおくっていただきたいと思い新城で開催します。ちょっと大げさかもしれませんが、本当に子供を笑顔にして元気にして帰し、そのお母さんたちがまた笑顔になる。本当に小さな活動ではありますが、学生と私とで全力で頑張っています。

最後に7時からシンポジウムで福島の子供たちを見ている愛知の子に生の話が聞けますので、経営者の力のある方に現状を知っていただきたいと思います。是非参加していただけますようよろしくお願いいたします。どうも長くなりましたが、ありがとうございました。

米山記念奨学委員会卓話

■米山記念奨学委員会 委員長 三浦 和人さん

皆さま、こんばんは。米山奨学生は、2005年まで1,000人いました。2005年以降800人になり、来年の3月からは700人になり100人減ります。ロータリーの会員が減少したことも含めて、財政が厳しくなったため減らさなくてはならなくなったという問題があります。



米山奨学生は、以前は韓国の方が大半であとは台湾の方でした。現在は、中国の方が50%、韓国の方が17%ぐらいで、中国の方が一番多いです。米山奨学生の韓国の方が、駐日韓国大使館で駐日大使をしています。名古屋の中国領事館では、米山奨学生の中国の方がいます。いろいろな奨学生が各界で活躍しています。米山奨学生は、東北大震災でも寄付をして日本と非常に関係が深いと思います。

いろいろな友好の種を米山がまいたにもかかわらず、現在は減っています。特に中国は、非常に厳しい情勢になりました。昨日は、上海で日本人の商社マンが4人ぐらい襲われて怪我をしました。また、中国で人を採用するのがとても難しくなっています。現在の日本は研修生を入れていますが、採用しても親が日本へ行くことを反対するのです。それは中国と日本が戦争になると困るからという理由です。中国の方は、非常に誤解を持っているようです。だから少しでも米山奨学生を増やさないと友好が繋がらないと思います。

私は中国へ過去に三回行ってきます。天安門事件前の1988年と10年ぐらい前、それから2年ぐらい前です。1988年は上海へ行きました。朝になると働く

人が自転車に乗っています。差別は全くありません。トイレは女性男性関係なく上半身が見えて、下半身部分にだけ簡単なドアがついていました。人々の生活は大変貧しかったが、平等でした。しかし、1年後の1989年に天安門事件で学生を中心に政治的自由を求めて大事件になりました。1990年に共産党を中心とする中国政府は、日本の軍国主義と闘って勝利したのが共産党政権であったとして共産党に対する求心力を得るために教育しました。これが、いわゆる反日教育と言われているものです。

現在の中国は、非常に不平等になっています。私は2年前に桂林に行きました。高速道路を観光バスで行きましたが、縦横無尽で建設途中の高速道路がたくさんありました。私の乗った観光バスの前をイタリアの高級車が走っていきました。運転していたのは中国の方です。高速道路下の農地は、裸足の人が水牛で耕作していました。とても貧富の差があり、びっくりしました。

中国の統計によりますと、公示による暴動が2010年に180,000件起きています。現在はその2倍ぐらいの暴動が起きています。中国の経済は、1988年には10%の成長でした。現在は7%ぐらいに落ちています。ヨーロッパの不景気を背景に中国でも生産しても物が売れない状況になってきました。そのようなことから不安定な経済と言われています。

社会的に不安定になっている段階で、中国の共産党政権が求心力を集めようと、また同じように反日というものを人為的に作り上げました。前回の反日暴動は、かなり政府のいろいろな働きかけがあったと私は思っています。

そのようなことにどう対抗するかと聞かれると、やはり人々の友好しかないのです。日本を知らない人に日本に来ていただいて、日本を知っていただく。幸い米山は、東南アジア中心です。現在は、中国の方が中心です。これから経済活動を含めてよりスムーズにしていこうと思うと、やはり韓国、中国、台湾の方に来ていただくということです。出来るだけ友好関係を組み、誤解を生まない状態を作る必要があると思います。

米山はそのような点では、中国の奨学生が50%を占めていますし、韓国の方も大勢います。韓国の竹島に対するいろいろな動きは、比較的早くから行っています。韓国の人はたくさん来ていましたから、いくら大統領が政権を維持するためにした行動だったとしてもあまりついてきません。しかし、中国は人口が多いので日本を知らない人が多いです。そのため誤解を受けやすい。そのような意味で、米山が中国で日本との友好を深める人を作っていけたらと思います。

ただ、会員が減り、募金が減って時代の要請に逆行している状態です。ぜひ、米山に対して支援していただき、日本の将来の安全、中国の人や韓国の人とたくさん知り合い助け合うことによって、日本の経済や政治の安定を願っています。是非ご協力をお願い致します。

第 1023 回例会 (11月6日) のご案内

秋の家族会

於：名古屋ブルーノート 17:20~